

「地域のためにできること」 ～避難訓練にあたって～

230901

私は、夏休み中に幸田町と姉妹都市である、長崎県島原市を訪問しました。島原市は、幸田町と姉妹都市の関係にある市で、32年前に雲仙・普賢岳という火山の噴火により大きな被害が起きた都市です。訪問を通して、改めて災害の恐ろしさと、対策の大切さ、そして復興には中学生を含めた地域住民が一丸となる大切さを感じました。そして、必ず起きると言われている南海トラフの地震に対しての幸田中学校としての対策、災害時に役立つ地域とのつながりの強化を図ってきたいと思いました。みなさんは中学生であり、責任と役割を担うことのできる年齢になっています。こういった機会に、家族に任せきりにするのではなく、自分の家の対策や家族内の役割を確認すると共に、地域のためにできることを考えてほしいと思っています。

その一環として、明日、防災広場で開催される「町の防災訓練」の場で、3年生の有志50名がライジングサンを踊り、幸中の防災や地域とつながる取組を伝えてくれます。そういった動きを創り出してくれた3年生に感謝しています。また、2学期中には、各小学校や各区での防災訓練も計画されています。中学生が参加してくれることで地域の方の防災への意識が高まるから、ぜひ参加してほしいと言われています。中学生にできる地域への貢献も兼ねて、ぜひ参加を検討してください。